



Rotary International District2510 2020 October

GOVERNOR'S Monthly Letter

2020-2021年度 ガバナー月信

No.4
2020
10



ロータリーは機会の扉を開く



Rotary Opens Opportunities

国際ロータリー第2510地区
2020-2021年度 ガバナー 福井 敬悟

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7階

TEL/011-207-2510 FAX/011-207-2512

E-MAIL/rid2510@pxva.ne.jp <http://rid2510.org>

2020-2021年度 国際ロータリーのテーマ

「ロータリーは機会の扉を開く」



国際ロータリー第2510地区 2020-2021年度地区目標

2020年日本のロータリー100周年を祝おう!
~これからの100年に向けて~

- ① IT活用の推進と公共イメージの向上
- ② 会員基盤の強化
- ③ 1クラブ1プロジェクトの推進
- ④ ロータリーファミリーへの支援と学友連携の強化
- ⑤ クラブ戦略計画の作成に期待

CONTENTS

●RI会長メッセージ	1	●ロータリーコーディネーターNEWS	19
●ガバナーメッセージ	2	●第1地域RRFC便り	21
●米山月間にもむけて	4	●新会員の紹介	23
●2021年度台湾国際大会のご案内	5	●ロータリー探訪「有償と無償の奉仕」	24
●ガバナー公式訪問	7	●地区カレンダー(10月・11月)	25
●熊本豪雨義捐金報告/コロナ対策	14	●会員数・例会数	26
●訃報	15	●2020-2021年度地区大会のご案内	27
●米山奨学生の紹介/米山記念奨学会寄付・ロータリー財団寄付	16	●ガバナー・ミニ候補者推薦のお願い/ICT委員会からのお知らせ	28
●ハイライトよねやま	17		

ロータリアンとローターアクターの皆さま

今年度に国際ロータリー会長を務めることができ、大変光栄に感じております。ロータリーにおいて重要な仕事が私たちに待ち受けていますが、同時に多くの楽しみもあります。

私たちは昨年度、ロータリーのより良い未来を築くための5年間の行動計画を開始しました。この計画では、「より大きなインパクトをもたらす」「参加者の基盤を広げる」「参加者の積極的なかわりを促す」「適応力を高める」という優先事項に取り組みます。この数カ月間でロータリアンとローターアクターは、未来への新たな道を切り開き、これらの目標が実現可能であることを既に示してきました。

紛れもなく、新型コロナウイルスによってロータリーはこれまで想像もなかった新たな課題に直面しています。しかし、どのような課題にも、それを上回るほど大きな機会が存在するものです。今年度のテーマを私が選んだときには知り得ようもなかったことですが、新年度に乗り出した私たちにとって、「ロータリーは機会の扉を開く」のテーマはさらに大きな重要性を帯びています。

ロータリーの会員がこの状況に適応し、新型コロナウイルスに対応していることに、私は感銘を受けています。新型コロナウイルスの世界的流行により、多くのクラブでは通常通りの活動が困難になっています。しかし、私たちは必ずやこれを乗り越えます。この数カ月間、私は数百ものクラブを自宅から「訪問」という新しい方法で、ロータリアンやローターアクターの皆さまとの交流を楽しんできました。バーチャルな方法で多くの例会に出席するのも楽しいものです。まだオンライン例会を試したことのないクラブは、オンライン例会を開いたり、ほかの地域・国のロータリークラブやローターアクトクラブからのゲストスピーカーをオンラインで招くなど、何らかの形でオンラインの要素を取り入れることをお勧めします。

ロータリーの強固な未来を築くには、新しい人に声をかけ、ロータリーに迎え入れることが重要です。また、地域社会を反映したクラブづくりも大切です。より多様なクラブとリーダーが集まれば、ロータリーは変わりゆく世界とのつながりを強固に保つことができます。

ですから、会員一人ひとりの価値をロータリーが大切にしていることを、あらゆる機会に示そうではありませんか。学んだことを土台とし、新たな現実を受け入れ、新しい顔を歓迎し、輝いていく新たな方法を見つけるために、この機会をとらえましょう。これこそが、世界にインパクトをもたらし続ける方法です。そのための援助が必要となった場合には、目標達成に役立つロータリーの多くのリソースをご利用いただけます。

地域によって「ロータリー」がもつ意味は異なるかもしれませんが、私たちは皆、同じ中核的価値観と「四つのテスト」によって結ばれています。ロータリーが変化しようとも、その価値観が変わることはありません。

皆さまがクラブや地域社会でいかに参加を促し、インパクトをもたらしているかをお聞きできることを楽しみにしています。「ロータリーは機会の扉を開く」とは、奉仕の恩恵を受ける方々、そして私たち会員の両方に共通するテーマです。



感謝の気持ちを込めて

2020-21年度 RI会長 ホルガー・クナーク



国際ロータリー 第2510地区
2020-2021年度ガバナー

福井 敬悟
(札幌手稲RC)

新年度が始まり早3ヶ月が経ちました。酷暑の夏は終わりを告げ木々の葉が色づき始め秋の気配を感じる季節となりました。北海道は10月も末頃になると初雪の話題が出てきます。コロナ騒動もワクチンの話題が色々駆け巡っていますが収まる気配は見えません。

私の公式訪問はおかげさまで各クラブの皆様に温かく迎え入れて頂き、ほんとうに感謝申し上げます。

今年度は、どのクラブも、あらゆる奉仕活動が「密」になることが理由で苦勞されています。しかし、各クラブにおかれましては会長の強いリーダーシップのもと、それぞれの委員会が新型コロナウイルス感染症に負けないぞ!という強い気持ちで色々工夫をされ、クラブ一丸となって邁進されている姿に感動いたしております。

さて、今月は「経済と地域社会の発展」月間です。2014年10月RI理事会は、10月を重点分野:「経済と地域社会の発展月間」としました。

貧困地域の経済発展を目的とした、起業家・地域社会のリーダー、地元団体を含む地域ネットワークの向上、雇用創出、支援が行き届いていない地域社会での貧困の削減、経済と地域社会の発展に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学支援を強調する月間としました。

世界の約10人に一人が1日1.9ドル未満で生活をしています。貧困の定義は一つではありません。貧困のとらえ方には、必要最低限の生活水準が満たされていない状態の「絶対的貧困」と、ある特定社会の集団の中で、大多数の標準に比べ貧しい状態の「相対的貧困」があります。世界銀行は、「国際貧困ライン(1日1.9ドル未満)で暮らす人を貧困層と定義しています。

「SDGs」では「世界中のあらゆる形の貧困を終わらせる」ことが17の目標の1つ目として盛り込まれています。「あらゆる形の貧困」とは経済的な問題だけでなく、教育や就業機会を得られない事、また、食料や水、病院、住居などのサービスがない、あるいは受けられないことが含まれます。

新型コロナウイルス感染拡大により貧困問題は更なる犠牲が強いられている現状も見逃すことの出来ない事です。



米山 シンボルマーク

重なり合うハートは「ロータリアン」と「奨学生」です。外国人留学生の支援・交流を通じて国を超えた信頼関係を築き、世界の平和を願う“心”を育てるといふ、事業創設の願いが込められています。手はそうした「心」を生み出すと同時に当事業がロータリアンの手で支えられていることを示しています。

ロータリーは貧困地域や十分な支援が得られない地域で測定可能かつ長期的な経済発展を創出し、人々と地域社会が貧困を緩和していけるよう支援します。

第2510地区でもグローバル補助金を活用した奉仕プロジェクトが行われています。こうした話題を例会卓話で取り上げたり、検証ツアーの報告、フォーラムで討議したりして理解を深めていただければ幸いです。

さて、10月は日本独自の月間として「米山月間」が設けられています。

ロータリーは国や民族、文化、職業が異なる人々が結び合い、国際理解、親善、平和を推進していくことがロータリーの目的の4番目にあります。米山奨学金は米山梅吉翁が「将来の日本の生きる道は平和しかない。その平和日本を世界に理解させるためには、アジアの国々から一人でも多く留学生を日本に迎え入れて、平和日本を肌で感じてもらうしかない。これこそ、日本のロータリーにふさわしい国際奉仕事業ではないか」と説かれ、米山梅吉氏の遺徳を偲び1952年に東京ロータリークラブによってはじめられた事業です。

今月の月信には地区米山委員会からの掲載がありますので是非ご高覧ください。

最近、会員から今の海外奨学生はお金に困ってなさそう、日本の学生に支援したほうがいいのでは!との声もよく耳にしますが、米山記念奨学会の使命は日本と世界、特にアジアの国々を結ぶ「懸け橋」となって、平和と国際理解を推進する人材を育成するという国際事業であり、一人でも多くの留学生を迎え入れ支援するという従来の方針をご理解頂き、国籍で判断することなく、一人でも多くの日本の理解者、日本の友人を作ることこそが使命であると考えます。

まだまだ新型コロナウイルス感染症の影響でロータリー活動にも多大な影響下にありますが、各クラブの会長・幹事の皆様、そして会員の皆様におかれましては健康第一に益々のご活躍を期待申し上げます。



10月米山月間にむけて

地区米山記念奨学・学友委員会

委員長 佐藤 竜也 (北斗RC)

本年度は、2月に始まった新型コロナウイルス感染症蔓延の影響で、3月の奨学生修了式や歓送会の開催もできず、4月の奨学生オリエンテーションとカウンセラー研修会も実施できない中、米山記念奨学会としては新年度の奨学会事業をスタートしました。

第2510地区は、一昨年の割当総数20名、本年度(2020学年度)奨学生は割当総数が21名と1名が増員されまして新規16名、継続奨学生が5名の都合21名となりました。

奨学会からの割当数は、ロータリー会員様方からの寄付額で決められます。毎年、地道ではありますが寄付額の増加に伴い割当数も増えてきております。これも偏にご理解とご厚情の賜と感謝申し上げます、御礼申し上げます。

さて、ロータリー年度は7月が新年度であります。既に半年前からスタートしておりますが、今年はコロナ禍の中、主なる事業が中止されております。例年であれば9月には奨学生、学友、カウンセラーによる研修旅行が開催しているところですが本年度は中止となりました。

この研修旅行は、大学の無い地域、あるいはグループに奨学生や学友を連れて直接的にロータリアンとのコミュニケーションと日本の伝統文化や歴史に触れ、日本に対する理解を深めてもらい、母国あるいは世界と平和の架け橋となっただけでなく、日本ロータリーの米山記念奨学会のあるべき姿であり、唯一の目的と私は思います。

今年度は地区米山委員が一丸となり、第2510地区の会員皆様方に米山記念奨学会の事業目的をこれまでより深くご理解をいただけますように活動して参ります。

10月中旬には2021学年度の奨学生応募が締め切れ、12月には面接選考会が開催されます。来年度の割当数はおかげさまで22名となりました。全国的には割当数ランクとしては18位に位置しております。

これも地区会員の皆様方のご支援のおかげと感謝申し上げます。米山月間に留まらず、奨学生との直接のコミュニケーションの唯一の機会となります卓話を積極的にご用命下さいます様、重ねてお願い申し上げます。

過去の活動記録例





地区RI国際大会
推進委員長

小山 司
(札幌RC-PG)

2021年度 台湾国際大会のご案内(第1報)

2020～2021年度 第113回 国際ロータリー年次大会が、2021年6月12日(土)から6月16日(水)までの5日間、中華民国台北市において盛大に開催されます。日本と台湾とのロータリークラブの交流については、日台ロータリー親善友好会議等を通して親密に為されてきており、また本地区とは、2018年の「胆振東部地震」の発生に際しては、一早く災害義捐金をお寄せ頂きました。

国際大会では、国際ロータリーの基本方針の確認やRI役員選挙の他、関連する多数のプログラムやイベントが予定されています。また開催期間中には、福井敬悟ガバナー、地区役員および委員、参加ロータリアンの慰労と親睦を目的とした恒例の北海道ナイトを、シェラトングランド台北ホテル(台北喜來登大飯店)で開催する予定となっています。アジア屈指の世界都市で、豊富な人気観光スポット・名所に恵まれており、この機会に台湾観光を楽しんでみては如何でしょうか。

ご旅行内容の詳細(旅行内容・旅行代金・ホテル・航空会社等)については、次回掲載のガバナー月信にて改めてご案内いたします。

- ◎大会登録：各自にてお願い致します ◎北海道ナイト：6/13(日)シェラトングランド台北ホテル(台北喜來登大飯店)
◎第1次申込締切り日：令和2年11月30日(月)

(株)JTBプラン【A・Bコース】

【Aコース】6月12日(土)～6月14日(月) 台北2泊3日 定員20名様

日次	月日(曜)	地名	現地時間	交通機関	日程	食事
1	6/12(土)	新千歳空港発 台北(桃園)空港着	13:00 16:20	BR165 専用車	直行便にて台北へ 入国後、現地係員がお待ちしております。 専用車にてホテルへ 希望者は夕食(OP) <台北泊>	朝：— 昼：機内 夕：—
2	6/13(日)	台北	終日 18:30		終日：「ロータリー国際大会in台北」 <開会・本会議> 2510地区 北海道ナイト(OP) 「シェラトングランド台北ホテル」にて <台北泊>	朝：○ 昼：— 夕：—
3	6/14(月)	台北(桃園)空港発 新千歳空港着	10:10 15:00	BR116	専用車にて空港へ 直行便にて新千歳空港へ	朝：○ 昼：機内 夕：—

*上記は8月31日現在の予定で大会事情、交通機関の都合により変更になる場合がございますので予めご了承下さい。

【Bコース】6月12日(土)～6月15日(火) 台北3泊4日 定員20名様

日次	月日(曜)	地名	現地時間	交通機関	日程	食事
1	6/12(土)	新千歳空港発 台北(桃園)空港着	13:00 16:20	BR165 専用車	直行便にて台北へ 入国後、現地係員がお待ちしております。 専用車にてホテルへ 希望者は夕食(OP) <台北泊>	朝：— 昼：機内 夕：—
2	6/13(日)	台北	終日 18:30		終日：「ロータリー国際大会in台北」 <開会・本会議> 2510地区 北海道ナイト(OP) 「シェラトングランド台北ホテル」にて <台北泊>	朝：○ 昼：— 夕：—
3	6/14(月)	台北	終日		終日：オプション観光 ①台北市内&九份観光(昼食、夕食付) ②新幹線で行く高雄日帰り観光(昼食、夕食付) ③新幹線で行くレトロな街台中観光(昼食、夕食付) ④台湾鉄道で行く花蓮タロコ渓谷観光(昼食、夕食付)	朝：○ 昼：— 夕：—
4	6/15(火)	台北(桃園)空港発 新千歳空港着	10:10 15:00	BR116	専用車にて空港へ 直行便にて新千歳空港へ	朝：○ 昼：機内 夕：—

*上記は8月31日現在の予定で大会事情、交通機関の都合により変更になる場合がございますので予めご了承下さい。

<ご旅行プラン>*ご旅行代金については次回ガバナー月信にてご案内させていただきます。

Aコース Bコース ※ご希望のコースをお選びください。

○申込希望の方は、下記問い合わせ先へご連絡をお願いします。正式な申込書を含めて改めてご案内させていただきます。○航空券はエコノミークラスにて設定しております。ビジネスクラスご希望の場合は正式なご依頼をいただいてからの予約となるため、手配できかねる場合もございます。また、航空券代金についても手配タイミングにより変動します。

【ご宿泊ホテル】シェラトングランド台北ホテル(予定)*人数によってはホテルが変更になる可能性がございます。

お申込・お問い合わせ先

(株)JTB 北海道事業部 営業第一課
札幌市中央区北1条西6丁目1-2
アーバンネット札幌ビル8階
TEL:011-271-7023 FAX:011-222-5101
メール:t_okawara380@jtb.com
担当/大河原、西谷

(株)産経海外旅行プラン【C・D・Eコース】

【Cコース】6月10日(木)～6月14日(月) 台北4泊5日 定員20名様

	日付	発着地	時間	交通機関	旅行行程	朝	昼	夕		
1	6月10日	木	千歳空港 発 台北空港 着 (桃園)	13:00 16:20	BR165 専用車	工バ航空にて台北へ 入国後、現地係員がお待ちしております。 空港よりホテルへ	台北 泊	朝	機内	夕
2	6月11日	金			終日：自由行動 OP (九分、十分観光)	台北 泊	○	-	-	
3	6月12日	土			終日：自由行動	台北 泊	○	-	-	
4	6月13日	日		18:30	終日：「台北 国際大会 本会議」 * 2510地区 北海道ナイト (OP)	台北 泊	○	-	-	
5	6月14日	月	台北空港 発 千歳空港 着	10:10 15:00	BR116	ホテルから空港へ 工バ航空にて千歳へ	台北 泊	○	機内	

※上記は8月31日現在の予定で大会事情、交通機関の都合により変更になる場合がございますので予めご了承下さい。

【Dコース】6月11日(金)～6月15日(火) 台北4泊5日 定員20名様

	日付	発着地	時間	交通機関	旅行行程	朝	昼	夕		
1	6月11日	金	千歳空港 発 台北空港 着 (桃園)	13:00 16:20	BR165 専用車	工バ航空にて台北へ 入国後、現地係員がお待ちしております。 空港よりホテルへ	台北 泊	朝	機内	夕
2	6月12日	土			終日：自由行動 OP (九分、十分観光)	台北 泊	○	-	-	
3	6月13日	日			終日：自由行動	台北 泊	○	-	-	
4	6月14日	月		18:30	終日：「台北 国際大会 本会議」 * 2510地区 北海道ナイト (OP)	台北 泊	○	-	-	
5	6月15日	火	台北空港 発 千歳空港 着	10:10 15:00	BR116	ホテルから空港へ 工バ航空にて千歳へ	台北 泊	○	機内	

※上記は8月31日現在の予定で大会事情、交通機関の都合により変更になる場合がございますので予めご了承下さい。

【Eコース】6月11日(金)～6月14日(月) 台北3泊4日 定員20名様

	日付	発着地	時間	交通機関	旅行行程	朝	昼	夕		
1	6月11日	金	千歳空港 発 台北空港 着 (桃園)	13:00 16:20	BR165 専用車	工バ航空にて台北へ 入国後、現地係員がお待ちしております。 空港よりホテルへ	台北 泊	朝	機内	夕
2	6月12日	土			終日：自由行動	台北 泊	○	-	-	
3	6月13日	日		18:30	終日：「台北 国際大会 本会議」 * 2510地区 北海道ナイト (OP)	台北 泊	○	-	-	
4	6月14日	月	台北空港 発 千歳空港 着	10:10 15:00	BR116	ホテルから空港へ 工バ航空にて千歳へ	台北 泊	○	機内	

※上記は8月31日現在の予定で大会事情、交通機関の都合により変更になる場合がございますので予めご了承下さい。

<ご旅行プラン> ※ご旅行代金については次回ガバナー月信にてご案内させていただきます。

Cコース Dコース Eコース ○ご希望のコースを選びお問い合わせください。航空券のみ、ホテルのみも賜ります。

航空機はエコノミークラスで設定しておりますが、ビジネスクラスをご希望の方は、お申し出ください。ご依頼を受けてからのお手配になりますのでご留意が出来ないこともあります。費用もお申し込み時期で異なりますので合わせてご回答いたします。

【ご宿泊ホテル】

オークラ プレステージ台北(予定)

住所: No. 9號, Section 1, Nanjing East Road, Zhongshan District, Taipei City, 台湾 10491 TEL: +886 2 2523 1111

<旅行費用に含まれるもの>

- ・航空料金: 工バ航空(エコノミー) 予定・宿泊代: ツインルーム 2名1室利用
- ・食事代: 日程表に記載。朝食、機内食・送迎代: 日程表の送迎費用

<旅行費用に含まれないもの>

- ・千歳、台北空港諸税等、燃油費用
- ・一人部屋をご希望の方は追加料金で賜ります。※先着順でご希望に添えない場合がございます。
- ・国際大会登録料(各自)
- ・北海道ナイト(OP) 弊社から手続きを希望する方はお申し出ください。
- ・九分、十分観光(OP) ご希望の方はお申し出ください。
- ・海外旅行傷害保険(OP) A I G海外旅行保険をご希望の方は弊社へお申し出ください。

お申込・お問い合わせ先

(株)産経海外旅行
札幌市中央区北1条西7丁目
タキモビル4階
TEL: 011-271-5388 FAX: 011-271-5621
担当/齊藤、矢田目

ガバナー公式訪問報告

紙面の都合上ならびに原稿の到着日により掲載順が前後する場合がございますのでご了承ください。

滝川ロータリークラブ

7月9日(木)

7月9日(木)、福井敬悟ガバナー、第2グループ宗方裕之ガバナー補佐をお迎えして、ガバナー公式訪問が開催されました。

11時からの会長・幹事懇談会では、竹田会長から今年度消防団に自動車を寄贈する計画があること及び新型コロナウイルス感染症の影響で多くの参加者を集める事業を行うことが難しく、事業計画の立案等に課題を抱えていることなどを説明しました。福井ガバナーからはウェブ会議等の利用は重要ではあるが、ロータリークラブの意義は会員同士が顔を合わせて親睦・交流を図ることにあり、会員の要望を踏まえつつバランスをとって例会等を行ってほしいとのお話をいただきました。

例年であれば、例会の前にクラブ協議会を開催しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響等を考慮し、残念ながら今年度はクラブ協議会の開催を断念しました。

12時30分からはガバナー公式訪問例会が開催され、福井ガバナーから今年度の地区方針である「守・破・離」についてパワーポイントを使って講話をいただきました。

ご多忙の中、当クラブをご訪問くださった福井ガバナー、宗方ガバナー補佐、和田敬友地区幹事にクラブ一同感謝を申し上げますとともに、今後のガバナー公式訪問が充実したものとなることを心より祈念しております。



三石ロータリークラブ

7月27日(月)

2020年7月27日(月)

10:00 会長・幹事懇談会

三石RCに関して様々な質問を受けました。ガバナー方針や国際ロータリーの活動方針、財団、ポリオ、米山などについての説明がありました。三石RC会長からの方針説明や今年度の事業についての説明が行われました。

11:00 クラブ協議会

ガバナーへ今年度の委員長方針説明が行われました。

12:30 例会

福井ガバナーと三石RC会員との合同例会
食事の時間後

会長・幹事の時間 報告事項とスケジュールの確認が行われ会員との交流を深めました。



函館亀田ロータリークラブ

8月3日(月)

8月3日(月) 福井敬悟ガバナー・坂下賢二ガバナー補佐・高張秀人地区幹事をお迎えしての公式訪問が開催されました。

当日はクラブ協議会を最初に開きました。当クラブの4大奉仕委員会の継続事業が新型コロナウイルス感染症の影響で実施出来ない為、代替りの活動を模索している旨を報告させて頂きました。更らに2名の新入会員を報告できた事は喜ばしく思いました。

クラブ例会では、ガバナーのご講話を頂きました。“ピンチをチャンスに”というタイトルで、ガバナーが提唱されている「守・破・離」の精神についてでした。

「守」は原点であり、その基盤の上に柔軟性を持って革新性を加味する、という内容で、クラブが抱えている問題の解決策を示唆して下さいっていると受け止めました。

異例ではありましたが、最後に会長・幹事懇談会となり、「クラブは楽しくなければいけない」と、会員相互の親睦の大切さをお話し頂きました。

福井ガバナーには、突然のスケジュールの変更など、大変ご心配をおかけ致しました事を、お詫び申し上げます。又、様々な事柄についてフランクにお話しくださり、誠にありがとうございました。貴重なお時間を頂きました事を心より感謝申し上げます。



函館東ロータリークラブ

8月4日(火)

今年度、第2510地区ガバナー公式訪問は8月4日(火) 福井敬悟ガバナーをお迎えし、函館東RC公式訪問が行われました。

今回は「新型コロナウイルス流行」という、今までにない色々な困難、配慮の中、福井ガバナーにお越しいただき、誠にありがとうございました。

当日は、福井ガバナー、上加ガバナー補佐、高張地区幹事をお迎えして10時より会長・幹事懇談会、11時よりクラブアッセンブリー、12時30分より例会に参加していただきました。

今年度福井ガバナーは、ホルガー・クナークRI会長のテーマ「ロータリーは機会の扉を開く」を受け「守・破・離」の心で初心を忘れず変化を恐れず希望の扉を開きましょうというテーマを掲げております。

そして、ロータリーは生き方を学ぶ場所であり、生き方を学ぶのに定年はないと言っておられます。

ロータリー会員である意味を改めて深く感じました。

又、新型コロナを克服するには①つながる②大局を見る③健康を保つ④目的を持つ⑤感謝する。

そして回復力・適応力・強さ、これらの事を強く意識しながらロータリアンとして、今後のクラブ組織に活かしながら活動していきたいと思っております。

又、温かい雰囲気の中、無事公式訪問を終える事が出来ました事を、心より感謝申し上げます。



函館北ロータリークラブ

8月5日(水)

8月5日(水)、福井敬悟ガバナー、第11グループ上加淳悦ガバナー補佐、高張秀人地区幹事を迎えての公式訪問が行われました。

10時より会長・幹事懇談会を会長・幹事・会長エレクトが出席し弗田和則会長よりコロナ禍の中での例会運営・会員増強・親睦活動青少年奉仕・IC・広報など含め報告させていただきました。

福井ガバナーより各クラブ例会運営状況を教えてもらいました。11時よりクラブアッセンブリーが行われ、各委員長より今年度の活動計画の報告後、福井ガバナーより貴重なアドバイスを頂きました。

12時30分より例会を行い、福井ガバナーよりコロナ禍で大変な時に守・破・離を活かして改革し、例会に関してもリモートなど取り入れて「ロータリーは機会の扉を開く」など沢山お話しをして頂き、大変有意義なガバナー公式公式訪問となりました。



札幌ライラックロータリークラブ

8月7日(金)

8月7日(金)福井敬悟ガバナー、山田廣ガバナー補佐をお迎えし、ガバナー公式訪問を開催させて頂きました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、時間短縮での公式訪問となりました。羽部大仁特別代表(PG)にもご参加いただき18時半から会長・幹事懇談会とクラブ協議会が行われ、クラブの活動状況と今後の活動計画を報告し、これからのライラックロータリークラブの運営の在り方・新しいスタイルの例会(オンライン等)や学友を対象とした会員増強、SNSを使ったクラブ宣伝などのご提案を頂きました。

19時からの例会では福井ガバナーより卓話を頂き、ロータリークラブの基本理念や奉仕活動の大切さ、今年度の地区目標である「守・破・離」への想い。そして今後も「守・破・離」を繰り返して力強いクラブを作っていくこと。クラブ運営の中でも初心を忘れずに活動して欲しいとのお言葉を頂き、創立して間もない私たちクラブにとって大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。

福井ガバナー、山田ガバナー補佐、羽部特別代表にはご多用の中ご来訪頂きましたこと、また会長・幹事会・クラブ協議会・例会合わせ1時間という少ない時間の中で、大変貴重なお話を頂きましたことに感謝申し上げ、本年度のご報告とさせていただきます。ありがとうございました。



留萌ロータリークラブ

8月19日(水)

8月19日(水)、福井敬悟ガバナー、澁谷賢治ガバナー補佐、和田敬友地区幹事、佐々木弘有ガバナー補佐室長をお迎えし、午前10時より会長・幹事懇談会、クラブ協議会、例会をホテル神居岩で開催いたしました。

会長・幹事懇談会では当クラブより辻本会長・高橋会長エレクト・串橋副会長・武田副幹事の4名で参加し、クラブの現状について意見交換を行いました。

クラブ協議会では、担当委員長より本年度の活動計画等が発表され、開催を予定しているリモート会議研修事業に期待を寄せているとの講評をいただきました。

その後、例会が開催され、福井ガバナーより本年度の活動方針や現況等をご説明いただき有意義な時間を過ごすことができました。

同日、午後5時半より会場を礼受牧場に移し、福井ガバナー歓迎夕食会を開催いたしました。直近の予報では雨でしたが、ガバナーのお力で留萌らしい夕日を眺めながら楽しい時間を過ごすことができました。福井ガバナーをはじめ地区役員の皆様には、ご多忙にもかかわらず留萌の地にお越しくださり会員一同心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。



羽幌ロータリークラブ

8月20日(水)

2020-21年度の羽幌ロータリークラブのガバナー公式訪問は、令和2年8月20日に開催され、福井ガバナー、和田地区幹事、澁谷第1グループガバナー補佐、佐々木ガバナー補佐室長の4名で当クラブを訪問されました。

午前10時からの会長、会長エレクト、幹事との会議が行われ、当クラブの運営にかかわるアドバイス等いただきました。

そのあとクラブ協議会が開催され、各委員会の活動計画が委員長より発表され、意見交換が行われました。その中で、当クラブの青少年奉仕委員会が企画している「羽幌シーバードフレンドリー(SBF)」や「羽幌自然空間(ピオトープ)」事業にガバナーが着目され、地域と連動したさまざまな事業はぜひ継続して取り組んで欲しいなどの意見を頂きました。

12時15分からの例会では、昼食ををさんで福井ガバナーよりロータリークラブの最新情報や、コロナの影響により延期となった地区大会の情報、また「RI会長テーマ」「地区の方針」「回復力について」の3つのポイントについてご講和頂きました。

和やかな雰囲気の中、例会が終了し記念写真を撮って終了した2020-21年度のガバナー公式訪問でありました。



札幌幌南ロータリークラブ

8月21日(金)

この度のガバナー公式訪問は8月21日に、福井敬悟ガバナー、第5グループ山田廣ガバナー補佐、小山秀昭地区代表幹事、平川香織地区副代表幹事をお迎えして行いました。

例会に先立って行われた会長・幹事懇談会では北川会長からクラブの現況や計画、新型コロナウイルス感染症対策として推進しているオンライン出席規定で得られた有用性について報告致しました。

クラブ協議会では各委員長、部門長から活動の進捗と計画を報告致しました。

例会ではRI会長のテーマや地区の方針、コロナ禍によるピンチはロータリーを更に強くするチャンスとして「回復力」に着目したお話をパワーポイントを使ってわかりやすくお話頂く事で、会員一人一人の心に響く時間となりました。

広範囲に渡る第2510地区のクラブ一つ一つを公式訪問される激務に当たられる中、当クラブをご訪問、力強いお言葉で励ましを頂き誠に有難う御座いました。



江差ロータリークラブ

8月25日(火)

8月25日(火)、福井敬悟ガバナー、第11グループ上加淳悦ガバナー補佐、和田敬友地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問が開催されました。前日に入られた福井ガバナーを囲んで開催した歓迎会では、大変親しくお話頂きました。翌日の会長・幹事懇談会では、来年60周年を迎える江差RCの歴史や昨年北海道より表彰された「ロータリーの森」等特徴をご説明し、異業種への声掛け等増強についてご指導頂きました。クラブ協議会の後、プロジェクターを使用し「守・破・離」という地区目標を中心にロータリーの原点についてご指導頂き、例会では毎年実施している地元の匠の技への「職業奉仕表彰」について等お聞き頂きました。終了後、「ロータリーの森」へご案内し、地区補助金を活用した植樹育樹した、たわわに実をつけた数十本の栗の木や梅の木を視察頂きました。「守・破・離」を心に刻み、希望の機会を開いて参ります。あたたかなお言葉の数々、会員一同心より感謝申し上げます。



七飯ロータリークラブ

8月25日(火)

8月25日(火)、福井敬悟ガバナー、第10グループ坂下ガバナー補佐、和田地区幹事をお迎えして公式訪問が行われました。当日は江差ロータリークラブの公式訪問を午前10時から開催し、その後お疲れのところ16:00から当クラブの会長・幹事懇談会を開催させて頂きました。

懇談会では、堅苦しいお話ではなくガバナーの七飯に対する感想などを中心にお話しされました。

17:00からのクラブアッセンブリーで各委員長の計画及び報告を福井ガバナーに聞いて頂き、ガバナーからいくつかの質問をされた後、ガバナーの講評を頂きました。終了後集合写真撮影をして例会を行いました。

例会では、ホルガー・クナークRI会長の国際ロータリーテーマ「ロータリーは機会の扉を開く」そして地区目標として「守・破・離」についてをプロジェクターなどを用いて説明頂き、今後のロータリーの運営について大変参考になり、新型コロナウイルス禍などで例会の運営に支障をきたす中「ピンチをチャンス」とらえてと力強い講話を頂きました。

例会終了後、有志で懇親会を開催し快く参加頂き、楽しいひと時を過ごさせて頂きました。翌日は大沼カントリークラブでゴルフを楽しむとお聞きし、お疲れのところ懇親会にお誘いし大変申し訳なく思っております。

公式訪問が続く中、気さくにロータリアンに接して頂く姿を拝見し感銘を受けました。これからも公式訪問が予定されております。健康には十分気を付けて頂きたいと思っております。福井ガバナーには感謝を申し上げ報告といたします。

有難うございました。



函館五稜郭ロータリークラブ

8月28日(金)

国際ロータリー第2510地区2020-2021年度福井敬悟ガバナーは、2020年8月28日(金)午前10時～午後1時30分、ホテル法華クラブ函館にて当クラブを公式訪問されました。

1 当クラブ役員との懇談会 午前10時～午前10時45分
福井ガバナー、当クラブ会員である上加淳悦ガバナー補佐、函館ご出身の高張秀人地区幹事、岡田恒男会長、村田信吾会長エレクト、窪田幹事の6名にて、当クラブの特徴である活発な親睦活動、奉仕活動などを話題として、和気藹々とした雰囲気の中で懇談をさせて頂きました。

2 クラブアッセンブリー 午前11時～午前11時50分

福井ガバナー、上加ガバナー補佐、高張地区幹事に加えて、羽部大仁第1地域ロータリー財団地域コーディネーター(PG)をお迎えし、当クラブからは役員・委員長ら、大日向豊吉ガバナーエレクト、能戸彰次期地区代表幹事及び横岡孝一次期地区財務委員長など21名が参加して、主に2020-21年度のクラブ活動計画についての活発な報告と、ガバナーからの温かいご講評を頂きました。

3 例会 午後0時30分～午後1時30分

福井ガバナーから、本来であれば東京オリンピック、日本のロータリー百年という華やかな年であったところ、コロナ禍により苦難の年となったが、クナークRI会長の仰るとおり、ピンチをチャンスに変えて乗り越えていこうという趣旨の大変前向きな元気の出るご講話を頂戴しました。

以上簡単ですが、ご報告致します。福井ガバナー、上加ガバナー補佐、高張地区幹事及び羽部RRFCにおかれましては、誠にお疲れ様でした。ありがとうございました。



洞爺湖ロータリークラブ

8月31日(月)

8月31日(月)福田敬悟ガバナー、石川信行地区幹事、加藤栄吉ガバナー補佐、内池秀光ガバナー補佐幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問が開催されました。

会長・幹事懇談会では、三浦潤介会長より当クラブの近況と特徴について報告させて頂き、会員の半数以上が入会5年以下のため基礎知識からの研修会実施等の行動目標の抱負を述べました。

クラブ協議会では、各委員会から今年度の活動計画を説明させて頂き、福井ガバナーから各委員長一人ひとりへご助言頂き、終始和やかな雰囲気での会議が進みました。

例会では、福井ガバナーからご挨拶と卓話を頂き、アメリカでの国際協議会、RI会長のスローガンについて話され、さらに福井ガバナーのスローガンである、「守・破・離」の心で、初心を忘れず変化を恐れず希望の扉を開きましょう。のご自身の考えを熱く当会員に伝えて頂きました。大変有意義な一日となりました。当クラブへのガバナー公式訪問誠にありがとうございました。



伊達ロータリークラブ

9月1日(火)

福井敬悟ガバナー、高張秀人地区幹事、加藤栄吉ガバナー補佐、内池秀光補佐幹事をお迎えして9月1日ガバナー公式訪問が行われました。当日は、朝9時より伊達市菊谷秀吉市長を表敬訪問しました。

会長・幹事懇談会では、伊藤金藏会長より、今年度の会長方針や概要、現状の報告がなされ、福井ガバナーより多くのご意見やご指摘を頂きました。

クラブ協議会では、理事・役員・委員長出席のもと各担当理事から各委員会の活動計画について説明がなされ、福井ガバナーよりそれぞれの活動に対して懇切丁寧なご講評をいただきました。

例会では、福井ガバナーよりとても有意義な卓話を伺い、最後に伊藤会長の謝辞で終了しました。

福井ガバナーはじめ地区役員の皆様には、ご多忙中にもかかわらず、クラブ訪問を頂き、会員一同心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



室蘭北ロータリークラブ

9月1日(火)

9月1日、福井敬悟ガバナー、高張秀人地区幹事、第9グループ加藤栄吉ガバナー補佐、内池秀光補佐幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問が行われました。

会長・幹事懇談会では、当クラブの会員バランスの良さに対しご評価をいただきました。又、「オンライン例会参加の併用」などのご指導も頂きました。

クラブ協議会では、各委員長より今年度の活動計画をご説明し、毎年恒例となっている新入会員からガバナーへの質問をさせて頂き、「会員同士の切磋琢磨」「IT、IC Tを取り入れた新しいクラブ運営の検討」などのご助言を頂きました。

例会では「ピンチを、チャンスに!」と題し、「RI会長テーマ」「地区方針」「回復力について」など、多岐に渡るお話を伺いました。例会後は二次会にもご参加いただき、ガバナーの「立場になってみて初めて感じるクラブごとの特色」など、普段聞くことのできない色々なお話を伺い、得難い体験をさせて頂きました。福井ガバナー、高張地区幹事、加藤ガバナー補佐、内池補佐幹事、ありがとうございました。



令和2年熊本豪雨義捐金報告

地区内クラブに募金のお願いを致しました7月3日に熊本南部を襲った豪雨災害に対する義捐金について既に直接義捐金をお振込みされたクラブもございましたが、下記57クラブから1,788,971円を頂戴致しました。

第2700地区(福岡)と第2720地区(熊本)より支援要請が届いておりましたので、より被害の大きかった第2720地区に1,000,000円、そして第2700地区には788,971円を支援・送金致しましたのでご報告申し上げます。

皆様の温かいご支援ありがとうございました。

深川RC、羽幌RC、留萌RC、赤平RC、芦別RC、砂川RC、滝川RC、美唄RC、江別RC、江別西RC、岩見沢RC、岩見沢東RC、栗沢RC、栗山RC、当別RC、札幌RC、札幌はまなすRC、札幌北RC、札幌モーニングRC、札幌西RC、札幌西北RC、札幌手稲RC、札幌清田RC、札幌幌南RC、札幌真駒内RC、札幌南RC、新札幌RC、小樽RC、小樽南RC、蘭越RC、千歳RC、千歳セントラルRC、恵庭RC、長沼RC、えりもRC、三石RC、様似RC、静内RC、伊達RC、室蘭RC、室蘭東RC、室蘭北RC、登別RC、洞爺湖RC、函館RC、函館亀田RC、七飯RC、長万部RC、函館セントラルRC、江差RC、函館五稜郭RC、函館東RC、函館北RC、北斗RC、白老RC、苫小牧RC、苫小牧北RC

新型コロナウイルス対策

1. ロータリーの規則・推奨に従うこと

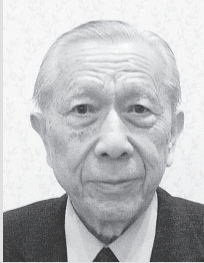
- 1 国法に従うこと
- 2 例会の再開には、入り口の消毒液の設置
- 3 例会時はマスクの着用
- 4 ソーシャル・ディスタンスを保つこと
- 5 国歌斉唱、スピーチ時もマスク着用
- 6 友情の握手は控えること
- 7 可能なら例会の時間を短縮する
- 8 状況によってはアルコール或いは食事を提供しない

2. 100年前のスペイン風邪を教訓に、今秋の第二波に備えること

3. 例会がSNS(zoomなど)のできるように慣れておくこと
4. 会長・幹事会をオンラインで開催できるようにしておくこと
5. クラブ内の委員会もオンラインでの開催ができるように準備しておくこと
6. 長期に例会が開催されていなかったため、各会員の近況を気遣うこと
7. 苦しい会員企業のことを考慮して、会費の値下げ、分割払いの検討
8. 新型コロナウイルスの世界的な蔓延の中で、ロータリーは何をすべきか、自分の地域と世界にも目を向けること

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに
心からご冥福をお祈り致します



苫小牧北RC

伊藤長英 会員 パストガバナー 2020年8月23日ご逝去（満92歳）

【ロータリー歴】 1984年8月 苫小牧北ロータリークラブ入会
1992-1993年度 クラブ会長
1998-1999年度 第2510地区 ガバナー
1999-2000年度 地区会員増強委員長
2000-2001年度 (公財)米山記念奨学会理事
2000-2002年度 新世代委員会委員長
2004-2010年度 (公財)米山記念奨学会常務理事
2010-2013年度 (公財)米山記念奨学会理事

【表彰】 米山記念奨学会 米山功労者 ベネファクター
ロータリー財団 メジャードナー



江別RC

林 重樹 会員 2020年8月31日ご逝去（享年 70 歳）

【ロータリー歴】 1990年10月11日 入会
2001-2002年度 幹事
2010-2011年度 会長

【表彰】 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



砂川RC

杉本 勉 会員 2020年9月15日ご逝去（享年 75 歳）

【ロータリー歴】 1988年2月 入会
2004-2005年度 クラブ会長
2009-2010年度 地区幹事

【表彰】 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

Y ONEYAMA SCHOLARSHIP

米山奨学生の紹介

日本との出会い

陳 倩倩 チン セイセイ(中国) 北海道大学・岩見沢RC

こんにちは。中国の山東省から来た陳倩倩(チンセイセイ)と申します。去年の10月に初めて日本にきました。現在北海道教育大学大学院教育学研究科に在籍しています。みんなに「せいせい」とよく呼ばれます。

ところで、なぜわざわざ中国から日本に留学しに来たかという、主に二つの動機があります。一つは、自分の研究したい「自然保育」という領域は中国より日本が進んでいるため、日本であれば自分の望む研究環境が満たされると信じたからです。また、日本と中国が東アジア文化圏に同属していることを背景として、子どもの自然体験教育において、日本の経験やスタイルは今後中国のよい参考になるのではないかと思ったのです。もう一つは、リアルな日本を非常に知りたかったからです。大学の四年間において、日本語の勉強とともに本などを通して日本の社会文化を理解しようとしていましたが、自分の理解が本当に合っているかどうかについて疑問を抱えていました。そこで、よいところでも悪いところでもリアルな日本を自分の目で見たくて確認したかったのです。

この二つの動機を持って日本に来てこの一年間に、学業では自分の研究に関連する環境教育や発達心理学などについていろいろ勉強できました。また、さまざまな見学機会も手に入れました。印象に残っているのは、去年の11月に自然保育を盛んにやっている長野県のいくつかの「森のようちえん」への見学です。そこで出会った自然の中で自由に遊んでいた子どもの姿や笑顔が、今までも頭の中に鮮明に残っています。また、その見学内容を中国にいた時の調査結果と比べて書いた論文が、今年大学の教育紀要に発表することになりました。他には、みんなで掘った雪の穴で寝ていたこと、旭川動物園でペンギンを初めて見たこと、私にとって人生初めてのことも、日本に来てからたくさん体験できました。一方、1年の生活を通して、日本の社会文化についてもいろいろ理解できるようになりました。その中で一番感動するのは、人と人の交際におけるお互いへの配慮です。重い荷物を運んでくれた知らないおばあさん、いつも助けてくれる友達、これらの方々から、私は日本人の優しさを感じ取りました。また一方で、国民性があるといっても、日本人も中国人も笑ったり泣いたりする



人間だなとしみじみ感じています。しかし、私たちはいつも「中国人はこういうものだ」「日本人はそういうものだ」と、自分でも知らない偏見を抱えて互いを見ています。ある日「中国人にはこんなにやさしい人がいるんだ」と日本人の友達から聞いた時、その偏見を消すにはやはり互いの出会い・話し合いが必要だと思いました。またその時、わずかな力だが、自分の存在はその偏見の減少につながっていると初めて感じたのです。

これからの留學生活において、もっと勉強したい、もっと体験したい、また新しい出会いを楽しみにしています。



米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

苫小牧北RC 友廣 久之 会員 (1回) 8月6日 苫小牧北RC 阿部 雅人 会員 (1回) 8月6日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

メジャードナー

岩見沢RC 大屋 均 会員(レベル1) 8月28日

札幌西北RC 中嶋 成実 会員 (1回) 8月28日

札幌手稲RC 高張 秀人 会員 (1回) 8月13日

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

滝川RC 坂本 和繁 会員 (1回) 8月28日

札幌真駒内RC 高野 園子 会員 (7回) 8月19日

苫小牧北RC 橘 勇治 会員 (1回) 8月13日

滝川RC 山口 清悦 会員 (1回) 8月28日

ポール・ハリス・フェロー

岩見沢RC 大屋 均 会員 (8回) 8月28日

札幌真駒内RC 横田 靖 会員 8月28日

札幌北RC 中瀬 智成 会員 (1回) 8月28日



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

2020.9.14

VOL.246

1 理事会・評議員会の決議事項

8月19日に開催を予定していた第26回理事会は、新型コロナウイルスの影響からやむなく開催を断念し、6月の理事会に続き、書面決議となりました。一般法人法第96条(定款第37条)に基づく「理事会の決議の省略」の方法により、8月24日付で全提案について、原案通り承認可決する旨の理事会決議があったものとみなされました。

【第26回理事会の主な議案】

2020年度後任評議員候補者/2020年度理事・監事候補者/2019年度事業報告/2019年度計算書類/2020年度収支予算書一部修正 ほか

また、9月10日開催予定の第11回定時評議員会についても、同様の理由で通常開催は回避し、書面決議となりました。今回は、2年に一度の理事・監事の改選が行われ、各地区から推薦され、理事会の承認を経て上程された全34地区の理事候補者と3人の監事候補者について、全

評議員による個別承認方式での承認が行われました。本件とその他の協議事項(4地区の後任評議員候補、2019年度の計算書類の承認等)を合わせた全4議案について、一般法人法第194条(評議員会の決議の省略)に基づき、9月10日付で承認可決する旨の評議員会決議があったものとみなされました。

なお、同日付で、役員候補者指名委員会から推薦された下記役員候補者について、2020年度理事・監事による承認の旨の書面決議が成立しました。

理事長：齋藤直美 (2760)

副理事長：山崎淳一 (2830) 水野 功 (2750)

常務理事：井原 實 (2770) 相澤光春 (2780)

滝澤功治 (2680) 駒井英基 (2740)

業務執行理事：水野 功 (2750)

2 日本に入国できない奨学生のメッセージ

新型コロナウイルスの水際対策として日本が行っている外国人の入国制限措置により、出国したまま4月以降も日本へ戻ってくるできない現役奨学生がいます。こうした奨学生はメールやSNSで世話クラブと連絡を取りながら、オンラインで例会に参加するなど工夫をしています。母国で日本へ戻る日を心待ちにしている奨学生たちの声を「奨学生報告書」から抜粋して紹介します。



マレーシア
秋田東 RC

1カ月の予定でマレーシアに帰省しました。日本へ戻る飛行機のチケットも取っていましたが、3月末までに2回もキャンセルされ、手配に奔走するうちに日本の入国制限が始まり、留学ビザの有効期限も切れてしまいました。4月からは オンラインで講義を受け、課題をしたり、論文を書くための文献を読んだりしました。指導教官の先生とはZoomで研究の進捗報告や相談をしています。今日、秋田大学から在留資格認定証明書をいただけたので、日本大使館のビザ申請センターが開き次第、申請しに行きます!ビザが取れたらすぐに日本に戻って、和食を食べて、ロータリークラブの皆様会いたいです。



韓国
東京新宿 RC

日本の友達が私を忘れたらどうしよう、日本にいる人たちはもう私のことを気にしないだろう、と思った日。カウンセラーからメールが来ました。定期的な連絡はしていましたが、この日のメールは日本へ入国できるようになりそうだという内容でした。メールを読んだ瞬間、まだ直接会ったことはないが、私が日本に帰ることを心から待っていてくれる人がいるということに、感動しました。ごく新しい新しい日常に慣れていますが、こうも考えます。新しい日常とは、今までのすべてが変わるわけではないのかもしれない。人との間にある温かい真心が互いを感動させるという点では変わらないのだということ。

3 ナイジェリア大統領からの称賛

幼い頃に父親を亡くし、経済的理由から母国 大学を中退せざるを得なかったイケンナさん。働きながらチャンスを待ち、国費奨学金により日本への留学を果たしました。筑波大学大学院 在籍中の2018-19学年度に米山奨学生となり、現在は博士課程に進学して母国の国内情勢について研究しています。

今年6月、帰宅中に財布の落とし物を発見したイケンナさんはすぐに交番へ届け、報労金の説明にも「いらぬです」と答えて交番を後にしました。5日後、落とし主からお礼の電話をもらってホッとしていたところ、この一連の行動がナイジェリア大統領の耳に届き、7月に「正直で誠実な行動を誇りに思う」という称賛のメッセージが大統領特別顧問により発表されました。このことが話題を呼び、日本の各メディアにも取り上げられました。



「日本のロータリアンの皆さま、水戸南RメッセージCのみなさま。米山奨学金のおかげで私は修士課程を修了することができました。このご恩をいつまでも忘れず感謝いたします。人種・地位・言語によって私を差別することなく対等に扱っていただきありがとうございました。私が素敵な経験をやる手助けをしていただきありがとうございました。皆さまからいただいたこと、すべてに感謝申し上げます」

オリエンテーションにて▶

「日本のロータリアンの皆さま、水戸南RメッセージCのみなさま。米山奨学金のおかげで私は修士課程を修了することができました。このご恩をいつまでも忘れず感謝いたします。人種・地位・言語によって私を差別することなく対等に扱っていただきありがとうございました。私が素敵な経験をやる手助けをしていただきありがとうございました。皆さまからいただいたこと、すべてに感謝申し上げます」



4 寄付金速報 — 10月の米山月間に向けて —

8月までの寄付金は前年同期と比べて3.7%減(普通寄付金:4.7%減、特別寄付金:2.0%減)、約1,200万円の減少となりました。

当会へご報告いただいた7月1日現在の会員数を昨年同期と比較すると、全国で約2,200人減少しています。また、コロナ禍による困難な経済状況にもかかわらず、皆さま

からご支援いただいていることに深く感謝申し上げます。当財団は内閣府より「公益財団法人」の認定を受けているため、当奨学会への寄付金には所得税、法人税の財政優遇が受けられます。相続税も非課税となります。

今年度もぜひ、ご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

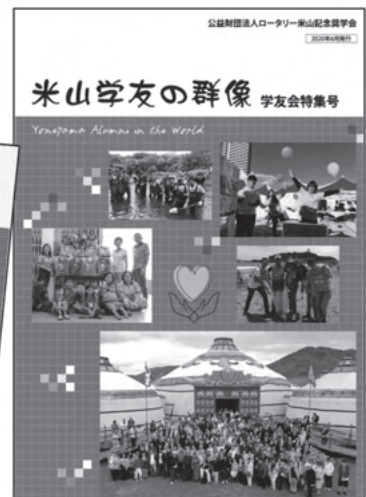
5 今年度の米山月間資料はこちら!

10月はいよいよ米山月間です。今年も米山月間用資料を全国の皆さまへお届けします。

毎年恒例の『豆辞典』は、米山記念奨学事業についてほぼ網羅されている小冊子。会員数分お送りしますので、1人一冊お手元にお持ちください。また、『米山学友の群像学友会特集号』は、「ロータリーの友」に2年間連載した学友会の紹介をまとめた一冊です。そのほか「クラブ米山記念奨学委員長の手引き(寄付マニュアル合併)」「2019年度事業報告書」「2019年度決算報告」を送付します。

追加資料のお申し込みは、同封の「追加資料申込書」に記載の上、お送りください。

9月23日より
順次発送



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel:03-3434-8681 Fax:03-3578-8281

E-mail: highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL: http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当:野津(のづ)・峰(みね)

Rotary



Region 1 & 2 & 3

コーディネーター NEWS

2020年 10月号 No.1

発行:Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

三地域合同オンラインセミナー報告

本年度から第一地域ARPICを仰せ付かりました、2790地区・柏RCの寺嶋と申します。

皆様には宜しくご指導の程、お願い申し上げます。

過る8月29日、三地域合同の2020-21年度「公共イメージ向上オンラインセミナー」が開催されました。

Zoomを利用しての合同セミナーは、初の試みとの事でございます。

当日は辰野克彦RI理事を始めとし、三地域のRPIC・ARPIC・ARC、及び、国内各地域のDG・GE・GN・公共イメージ向上を担当する各地区委員長など、総勢86名の参加を頂きました。

冒頭の辰野RI理事のご挨拶では、アフリカにおいてポリオが根絶された慶事が報告された一方で、そのマスコミ報道においてロータリーの果たした功績が触れられなかった事を指摘され、未だロータリーの公共イメージの向上が手法として不完全である事に対する反省の弁を述べられました。

次いでセッション1では、R3山下皓三RPICが「公共イメージの推進」と題し、公共イメージキャンペーンの実施・クラブの広報戦略・地域社会でのクラブのイメージの向上について問題提起をされました。

続くセッション2では、R1井原實RPICが「ロータリーのブランド」と題し、ロータリーブランドの認知と一貫性の重要性、および、ロータリーブランドとクラブ活性化の相関について解説されました。

更にセッション3では、R2服部陽子RPICが「ロータリーの公共イメージを築く」と題し、公共のロータリーへの理解を深める方法や、好ましいイメージを築く為の心得などについてレクチャーされました。

これらを受けた質疑と事例発表においては、2720地区・早水琢也会員から災害時に出動するキッチンカーと支援物資の備蓄状況についてや、2530地区・相良元章会員から広く購読されるメディアにロータリー情報を提供するQRコードを掲載する事業の実施状況など、各地区やクラブにおいても大いに参考となる具体的な事例が報告され、参加者には極めて有益なセミナーとなったものと思われま

第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 寺嶋 哲生(柏RC)

Rotary



Region 1 & 2 & 3

コーディネーター NEWS

2020年10月号 No.2

発行:Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

緊急事態発生! このまではロータリーがなくなっちゃう!!

ここ何年かに亘り、日本の34地区の会員数の増減を見てきました。その最たる特徴は、この2年間の退潮ぶりが極めて顕著になってきたことです。

I まず、直近3年前(2017-2018)の状況を見てみましょう。

2017-2018の状況は、34地区のうち会員数が増加した地区が19地区で+518人、減少した地区が13地区で-367人、増減0であった地区が2地区でした。合計で1年間で僅かに151人(1地区平均4.4人)しか増加しませんでした。ご承知の通り、日本が目指している会員数はとりあえず105,000人(1ゾーンに必要な会員数は35,000人ですので、これまでの3ゾーンを維持するとすれば、その3倍が必要とされています。)ですが、この年度末の会員数は88,087人、あと16,913人足りませんでした。このような中、毎年度僅かに150人程度増加で満足しているとするれば、不足分の17,000人を達成するには100年以上掛かってしまう計算になります。100年は待てません。

・増加地区	19	増加会員数	+518人
・減少地区	13	減少会員数	-367人
・±0地区	2		
計	34	純増会員数	+151人(1地区平均4.4人増)
・会員数	年度当初 87,936人	→	年度末 88,087人 (国内2,267クラブ(平均38.8人))

II さて、「それでもこの年度は微かながら増えたんだからよしとしよう」というポジティブな気持ちを持って次年度に期待していたのですが、次年度(2018-2019)の結果は、以下の通りとなってしまいました。

表からは、2018-2019年度はトータルで257人の減少を示しています。1地区あたり平均で7.5人の減少です。一方でクラブ数も減りましたので、1クラブあたりの会員数は38.9人と前年並みを維持しましたが、「これは大変なことになった」と感じたロータリアンも多かったことと思います。何が原因なのか?当時、日本の景気はそれなりに良かったはず。来年には東京オリンピック開催も控えていたし、インバウンド数も過去最高であったはずでした。でも、ロータリーは退潮してきている…、改めて大いなる不安を感じたのでした。

・増加地区	11	増加会員数	+277人
・減少地区	23	減少会員数	-544人
・±0地区	0		
計	34	純増会員数	-267人(1地区平均7.5人減)
・会員数	年度当初 88,087人	→	年度末 87,799人 (国内2,254クラブ(平均38.9人))

III そして、直近年度(2019-2020)の結果です。これを地区別に表した資料は、『ロータリーの友』9月号に載っています。それを分析しますと、とんでもない結果になりました。

たった1年間で、日本中からロータリアンが2,289人も消えてしまいました。1地区平均では67.3人が喪失してしまったのです。増加した地区は僅かに2つだけ…。それも合わせて43人にすぎません。原因は新型コロナ禍でしょうか?きっとそうですね。でも、ロータリーのスピリッツが各自に確立していれば、こんな結果にはならなかったかも知れません。改めて、会員増強のあとの新会員向けの啓蒙・啓発が必要であることを悟りました。各クラブは、年に数回、新会員向けの勉強会を開いてください。そこで先輩達は、ロータリーとは何なのか、自分の人生にどれだけ有益なものなのか、クラブに所属しているということにどのような意義があるのかなど、いろいろと基本的なことを説諭してください。

・増加地区	2	増加会員数	+43人
・減少地区	32	減少会員数	-2,332人
・±0地区	0		
計	34	純増会員数	-2,289人(1地区平均67.3人減)
・会員数	年度当初 87,799人	→	年度末 85,510人 (国内2,247クラブ(平均38.05人))

私達はもう一度、ロータリーの素晴らしさを再認識しましょう。静かに落ち着いて考えてみてください。ロータリーの存在は、私達にとれほど大切な時間や思い出や仲間を与えてくれたのかを…。

最後に、新会員に対しある格言から作文しての一言を贈ります…。

ロータリアンには2種類ある。

すなわち、「すでにロータリーが好きになってしまった人」と「これから好きになる人」だ。

第1地域 ロータリーコーディネーター補佐 田中 久夫(高崎RC)



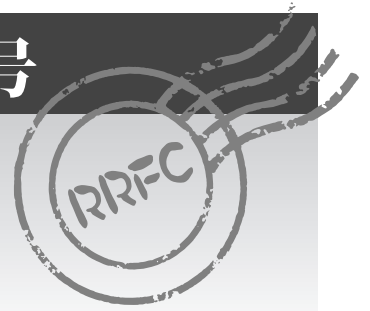
第1地域 RRFC便り 9月号

2020-21年度 (RRFC)

第一地域

羽部 大仁

habu@honganji.or.jp



アフリカ地域の野生型ポリオ根絶認定について

ロータリアンの皆様へ

この度、世界保健機関 (WHO) アフリカ地域の野生型ポリオウイルス根絶が認定されたことを、喜びとともにご報告申し上げます。

アフリカ地域から野生型ポリオをなくすために、ロータリー会員は計り知れない役割を果たしてきました。懸命な活動により、アフリカだけでなく

世界のほぼすべての国において野生型ポリオウイルスを根絶してきたことを、私たちは誇りとすべきです。

この進展は、アフリカ地域の全47カ国における数十年間の取り組みの成果です。これには、徒歩、ボート、自転車、バスによる数百万人もの保健ワーカーの移動、紛争地帯や政情不安地域の子どものワクチンを投与するための画期的戦略、まひ症状の検査や下水でのウイルス検知のための膨大な監視ネットワークも含まれます。

過去20年間、アフリカ地域と世界中の無数のロータリー会員が、資金調達、子どもへのワクチン投与、自治体・政府リーダーへの支援呼びかけ、予防接種の重要性に対する認識向上のために一体となって活動し、世界ポリオ根絶推進活動 (GPEI) によるポリオ症例への効果的な対応と感染拡大抑止を支援してきました。これは、ロータリー、アフリカ地域、GPEIのパートナー団体にとって、世界全体のポリオ根絶に向けた大きな一歩となるものです。しかし、残る2つのポリオ常在国でポリオに打ち克つまでは、活動を継続していかなければなりません。これまで私たちは、ポリオ根絶活動を通じて多くの課題に直面しつつも、目覚ましい前進を遂げてくることができました。ロータリアンが支援したポリオのインフラ構築は、今後数十年にわたって他の疾病から子どもたちを守り続ける永続的な遺産となります。

今私たちに求められるのは、ポリオ根絶へのコミットメント



2020/08/26 アフリカ地域のポリオフリーが宣言されました

を新たにすることです。この闘いに勝利し、ポリオプラスに毎年5,000万ドルの資金を調達するために、一人ひとりの貢献が必要とされます。この度の快挙は、世界全体でのポリオ根絶が実現可能であることを示し、新型コロナウイルスの世界的流行の中でも活動と協力、そして寄付を通じて前進できることを物語っています。

https://cdn2.webdamdb.com/md_oKQ9Dsp1d95.mp4?1597788127

(ホルガー・クナークRI 会長とラビンドランTRF 管理委員長の書簡より)

たった2滴のワクチンがあの時あれば

きっかけは突然に

『ロータリーの友』2019年11月号に載っていた「内外よろず案内」の「インドでポリオワクチン投与をしませんか」という記事をふと見つけるまでは、まさか自分がインドに行くとは思ってもみませんでした。それまでロータリーの奉仕活動はそれぞれのクラブで決めた方針に沿って行われるものと思っていた私にとって、個人の活動は初めての経験です。問い合わせ先に連絡してみると、幸いにもまだ参加者を募集中で、妻が背中を押してくれたこともあり、思い切ってインド行きを申し込みました。こうして、2020年1月17日～21日の日程で、チームポリオジャパンの1人としてインドでワクチン投与活動に参加しました。目薬のような容器から子どもたちの口にワクチンを2滴投与した時は、初めての経験というだけでなく、私が失敗したらこの子どもたちの未来にも関わってくると思い、大変緊張したのを覚えています。



石毛良治さん:東京後楽ロータリークラブ

言葉は通じませんが、子どもたちの笑顔や、母親の表情からも気持ちが伝わり、私の21年間のロータリーライフの中で最も感動した瞬間でした。なぜ私がポリオに

関心を持っているのかというと、兄と弟をポリオで亡くしているからです。1つ違いの兄・誠一は、幼くしてポリオウイルスに感染。母と祖母が看病をしていましたが、次第に体が動かなくなり、ついに意識もなくなり24歳でこの世を去りました。3つ下の弟・和雅も足が不自由でした。当時、父が町工場を経営していて忙しく、兄と弟の2人を世話することは難しい事情がありました。弟は静岡県御殿場のコロニーに預けられていましたが、16歳で亡くなりました。亡くなったという連絡があり、弟を連れて帰る車の中では、父も母も無言でした。本人も苦しんだだろうし、両親もさぞかしつらかったのだと思います。そんなことから、私にとって今回のインドへの旅は、兄弟の供養という意味もありました。(ロータリーボイスより転載)

ラダック成人女性 識字プロジェクト

高木直之(かながわ湘南ロータリークラブ)



ラダックは、ヒマラヤ山脈の西の端に位置するインドの自治州で、住民はチベット仏教の敬虔な信者です。国際ロータリー第2780地区とインドのニューデリー・ロータリークラブが、グローバル補助金を得て実施したこのプロジェクトによって、2015年ラダックの州都レーに3つの識字教育センターが開かれ、2017年8月の時点で87名の成人女性が読み書きを身につけました。現地でのプロジェクトは、**Mahabodhi International Meditation Centre** (以下、MIMC)という仏教団体が中心となって進めてくれました。ラダックでは女性に対する教育が行き届かなかった時代があり、字が読めない成人女性が数多くいます。彼女たちが字を学ぶ最大の目的は、チベット仏教の経典を読み、経を唱えること。上記の写真は2017年の視察時、我々のために経を唱えてくれている女性達のもので、中央の緑のスカーフを巻いた方は、識字センターができる以前、ただの一度も鉛筆を握ったことがなかったそうです。MIMCのモットーは、「Compassion in Action」日本語にするなら「慈悲を行動に」でしょうか。慈悲を行動で示すことを第一と考えるサンガセナ師は、

貧しい子供たちに教育の機会を、身寄りのない老人達に終の棲家を、病の人々に医療を届けるべく、このセンターを作ったのです。読み書きのできない成人女性に識字の光を届けることもまた、彼にとっては当然なすべきことの一つでした。

大統領を案内するサンガセナ師

- お経が読めるようになりました。
- 拇印押捺のかわりに署名ができます。
- 家族の衣服を作ったり、売って利益を上げることもできます。
- 農作物を市場で売るときに、だまされる心配がなくなりました。
- 電話番号が書けます。

(ロータリーボイスより転載)

GETS 参加の地区エレクトに 9/15 財団分科会情報

各地区ガバナー事務局の皆様をお願い申し上げます。来たる9月15日に開催されるGETS財団分科会に関するお願いです。下記に参加に関する情報を添付してありますので、貴地区ガバナーエレクトにお渡し戴きますようお願い申し上げます。GETSのリーダーか委員会からのお知らせは直接エレクトに送信されていると思います。財団に関するガイダンスは別のファイルでお送りしています。何卒ガバナーエレクトにお伝え願いますようお願いいたします。

管理委員会からの環境保全と RACに関する報告

RI理事会からの承認を条件とし、2021年7月1日有効で環境を7つ目の重点分野として追加することに一致で同意し、ロータリー財団の使命を次の通り改訂しました：**使命：ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を構築できるよう支援することです。(仮訳)**管理委員会は、ローターアクトクラブがロータリークラブと協力して奉仕プロジェクトを行うことを推奨しています。

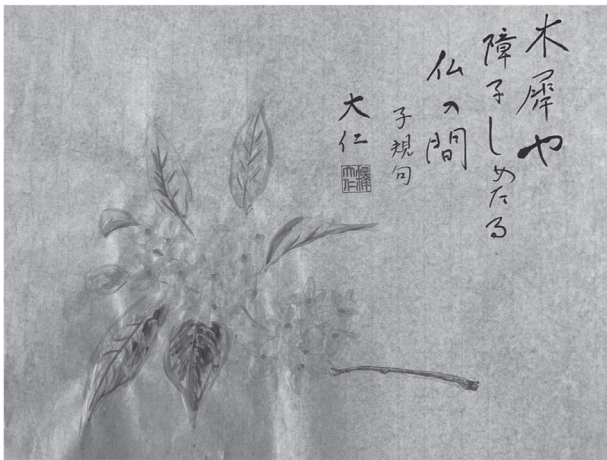
・地区補助金:

現在のところ、地区補助金のために、ローターアクトクラブが地区に直接申請することはできません。しかしながら、ロータリークラブを通じて地区補助金の資金を受領することは可能(申請、報告はロータリークラブが行う)

・グローバル補助金:

現在のところ、グローバル補助金のために、ローターアクトクラブが直接申請することはできません。しかしながら、2022年7月1日から、ローターアクトクラブがグローバル補助金プロジェクトで援助国側提唱者または実施国側提唱者になることが認められる予定(ただし、ローターアクトクラブがグローバル補助金で以前にローターアクトクラブと一緒に活動したことがあることを条件とする)。

金木犀の花に 子規の句を添えて



毎度の子規の金木犀の句に、金木犀の花を描きました。昔京都時代に下宿をしていた場所の近くに金木犀の木があって、9月下旬から10月の上旬にもの凄く良い

匂いに花を咲かせていたのを思い出します。

大学の登下校時は、この家の側を通った記憶があります。もの凄く良い香りでした。

万葉集に「黄葉(もみぢ)する時になるらし月人の桂の枝の色付くを見れば」(読み人知らず)桂の枝は、中国で丹桂と呼んでいたようです。

金木犀には月人の楓とも呼んだ諸説があると聞いたことがあります。又花の色の白いものは、銀木犀と一般に言われているようです。

さて今回の「木犀や障子をしめたる仏の間」一般に庭に咲く金木犀の匂いが気に掛かり、仏間の障子を閉めたように思われますが、子規がこの句を読んだのは明治33年(亡くなる2年前)の秋の筈です。腰の具合も悪かったと思われまから、仏壇の花瓶に金木犀を供えた金木犀の匂いが強いので、仏間の障子を閉めたのではと考えました。

同門の高浜虚子が次のような句を詠んでいます。「木犀の香にあけたての障子かな」(高浜虚子)これを見ると、今まで閉まっていた障子を開けるとお香の匂いより金木犀の匂いが漂ってきた。とその場の様子を感じることでした。

子規が数年患ってきた病と対峙して、仏門に安らぎを感じていたに違いありません。仏間での心の趣を何に問い、何を願っていたのでしょうか。

人の世の無情を感じていたのではないのでしょうか。

(羽部)

新会員のご紹介

(敬称略)



岩見沢東RC

大柄 秀美

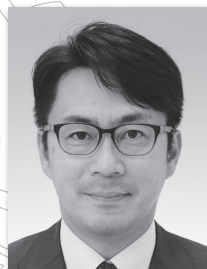
令和2年8月4日入会
シニアアクティブ



洞爺湖RC

船橋 貴彦

令和2年7月2日入会
ホテル



札幌西北RC

葛西 純一

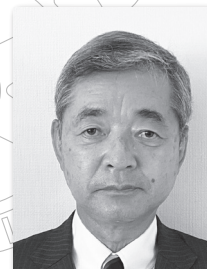
令和2年9月1日入会
建築業・ビル管理



苫小牧RC

松本 紘昌

令和2年9月4日入会
機械器具設置工事



苫小牧RC

成田 雅則

令和2年9月4日入会
港湾運輸

ロータリー 探訪



有償と無償の奉仕

地区職業奉仕委員会 委員長

玉井 清治 (函館亀田RC)



ロータリーはアメリカから発祥しました。そして約30年かけて理念・組織共に確立されたと言ってもいいでしょう。"Ideal of Service"という言葉で英語圏の人が頭に浮かべる概念と同じ概念を、我々日本人が「奉仕の理想」と云う言葉で頭に浮かべることができればよいわけですが、そのためには service の概念をしっかりと理解する必要がありますし、ロータリーにおける「奉仕」の意味を自分の心の中にブレずに固定しておくことが大切だと思います。

日本の歴史の中で、戦国時代の「奉仕」と天下泰平江戸時代の「奉仕」、明治維新後現在に至るまでの「奉仕」の意味合いが違うことにより、「奉仕」に対する個人として、クラブとして、そしてロータリーとしての考えにもズレが生じております。ロータリーの「奉仕」を理解するうえで解りやすく素晴らしい論文をご紹介します。新会員さんからベテラン会員さんまでご一読いただき、是非クラブでご活用ください。

日本のロータリーは、1934年にServiceの和訳を「サーヴィス」から奉仕に変えたのですが、Serviceはactivity(活動)・work(仕事)・duty(責務)の代わりに使われている単語なので、訳語を一つに絞ることは無理なのです。また、奉仕は無償ですがServiceは原則として有償ですから、この二つは「相反するもの」でもあるのです。この二つが日本で混同されているのは、日本語の「サービス」が有償だったり無償だったりするからです。

そもそもロータリーは、1905年ポール・ハリスがTrade(取引)とTalk(情報交換)を目的として作ったFellowship(同志の集まり)です。実際に互惠取引というService(有益な活動)によって、会員が利益を上げていました。すると1906年、ドナルド・カーターから「会員の利益しか考えず、社会に貢献しない団体には入りたくない」と言われてしまうのです。

そこで1907年、「地域社会への無償の貢献を仲間ですること」すなわちウイサーブを始めます。さらに1908年、アーサー・シェルドンが「利益社会(利害関係者)への有償の貢献を各自ですること」すなわちアイサーブを提唱します。ところが、この二つの社会貢献が三つの対立を生むのです。1907年に「互惠取引対ウイサーブ」、1908年には「互惠取引対アイサーブ」、1913年以降に「ウイサーブ対アイサーブ」という対立が起きるのです。最後の対立は激化し、ロータリーは分裂の危機を迎えます。そこで1923年、「何をするのか」という問題に「法則を適用する」という答えを出すことで、この危機を免れたのです。

この法則こそが、1934年「奉仕の理想」と訳されたService(貢献)のIdeal(理想的なあり方)です。これは、このとき作られた文書「決議23-34」の中核であり、「最善の貢献をする者が最大の利益を得る」という法則です。そして、この法則を各自の生活に適用することをCommunity Service(社会的な責務)と定義したのです。さらに1927年、これを三分割し、この法則を個人生活に適用することをClub Service(クラブ会員の責務)、職業生活に適用することをVocational Service(職業上の責務)、社会生活に適用することをCommunity Service(社会的な責務)と定義したのです。

ところが、日本では和訳の問題で、これらの歴史や定義が誤って解釈されたまま今に至っているのです。今一度、原点に戻って先人の声に耳を傾け、ロータリーを正しく理解しようではありませんか。

出典／RI2590地区 桑原 薫(横浜港北RC)氏著
ロータリーの法則より

地区カレンダー 10月 ▶ 11月

10月 経済と地域社会の発展月間 米山月間	
1	木
2	金
3	土 地区大会：延期
4	日 地区大会：延期
5	月
6	火 公式訪問（赤平RC）
7	水 公式訪問（札幌モーニングRC）
8	木 公式訪問（千歳RC）
9	金
10	土
11	日
12	月
13	火 公式訪問（白老RC・苫小牧北RC）
14	水 公式訪問（札幌真駒内RC）
15	木 公式訪問（札幌東RC）
16	金
17	土
18	日
19	月 公式訪問（札幌南RC）
20	火 公式訪問（岩見沢東RC）
21	水
22	木 公式訪問（岩見沢RC）
23	金 公式訪問（苫小牧RC）
24	土
25	日
26	月 公式訪問（札幌北RC）
27	火 公式訪問（小樽RC・千歳セントラルRC）
28	水
29	木 公式訪問（江別RC）
30	金
31	土

11月 ローターリー財団月間	
1	日
2	月
3	火 文化の日
4	水 公式訪問（倶知安RC）
5	木 公式訪問（小樽銭函RC）
6	金 公式訪問（小樽南RC）
7	土 第3グループIM（江別）
8	日
9	月
10	火 公式訪問（当別RC・札幌西RC）
11	水 公式訪問（札幌RC）
12	木 公式訪問（苫小牧東RC）
13	金
14	土 財団補助金管理セミナー（札幌）
15	日
16	月
17	火 公式訪問（栗山RC）
18	水 公式訪問（静内RC）
19	木 公式訪問（えりもRC）
20	金
21	土 公式訪問（札幌手稲RC）
22	日
23	月 勤労感謝の日
24	火 ローターリー100周年記念式典：延期
25	水 ローターリー研究会（zoom）
26	木 第2回ガバナー会（zoom）
27	金
28	土 赤平RC創立60周年記念式典
29	日
30	月

2020年10月のロータリーレートは地区HPをご覧ください。

会員数・例会回数報告

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数			
			2020.7.1	2020.8.31	増減	内女性
1	深 川	3	33	33	0	1
	羽 幌	3	42	42	0	2
	妹 背 牛	1	7	7	0	0
	留 萌	3	27	27	0	4
	小 計		109	109	0	7
2	赤 平	3	20	20	0	2
	芦 別	2	29	29	0	2
	砂 川	2	39	39	0	1
	滝 川	3	81	84	3	5
	小 計		169	172	3	10
3	美 唄	3	24	24	0	0
	江 別	3	35	36	1	1
	江 別 西	3	36	36	0	4
	岩 見 沢	3	90	91	1	1
	岩見沢東	3	15	16	1	2
	栗 沢	2	18	18	0	1
	栗 山	3	26	26	0	5
	当 別	3	28	28	0	0
	小 計		272	275	3	14
4	札 幌	3	125	135	10	1
	札幌はまなす	3	16	15	-1	2
	札 幌 北	3	43	44	1	5
	札幌モーニング	3	35	35	0	0
	札 幌 西	3	51	50	-1	10
	札幌西北	3	34	34	0	3
	札幌手稲	4	36	38	2	4
	小 計		340	351	11	25
5	札 幌 東	3	112	114	2	0
	札幌清田	2	11	11	0	3
	札幌幌南	3	51	53	2	0
	札幌真駒内	3	20	21	1	5
	札 幌 南	3	86	88	2	2
	札幌大通公園	2	12	12	0	3
	札幌ライラック	2	16	16	0	5
	新 札 幌	3	25	27	2	5
	小 計		333	342	9	23
6	岩 内	2	23	23	0	1
	倶 知 安	2	33	33	0	3
	小 樽	2	71	74	3	4
	小樽南	1	64	65	1	3
	小樽銭函	3	19	19	0	1
	蘭 越	3	8	8	0	0
	余 市	1	40	40	0	4
	小 計		258	262	4	16

8月会員増減数

クラブ数	70クラブ
期首会員数	2,493人
当月末会員数(女性)	2,549人(173人)
増加会員数	56人

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数			
			2020.7.1	2020.8.31	増減	内女性
7	千 歳	2	74	75	1	10
	千歳セントラル	0	43	43	0	9
	恵 庭	3	49	49	0	3
	北 広 島	3	15	14	-1	0
	長 沼	2	17	17	0	3
	由 仁	2	8	8	0	1
	小 計		206	206	0	26
8	え り も	1	19	19	0	1
	三 石	4	11	11	0	0
	様 似	4	14	15	1	1
	静 内	1	67	67	0	4
	浦 河	3	27	29	2	3
	小 計		138	141	3	9
	9	伊 達	2	62	62	0
室 蘭		3	30	33	3	2
室 蘭 東		3	32	32	0	3
室 蘭 北		3	48	49	1	2
登 別		3	29	29	0	1
洞 爺 湖		2	12	12	0	1
小 計			213	217	4	11
10	函 館	3	68	79	11	3
	函館亀田	4	36	37	1	4
	森	2	33	33	0	0
	七 飯	3	14	14	0	0
	長 万 部	2	10	10	0	0
	函館セントラル	3	23	23	0	2
	小 計		184	196	12	9
11	江 差	2	10	10	0	1
	函館五稜郭	3	53	53	0	0
	函 館 東	3	35	38	3	9
	函 館 北	3	18	18	0	0
	北 斗	3	12	12	0	0
	小 計		128	131	3	10
12	白 老	2	31	32	1	3
	苫小牧	3	55	59	4	2
	苫小牧東	3	28	28	0	5
	苫小牧北	3	29	28	-1	3
	小 計		143	147	4	13
合 計		2,493	2,549	56	173	

※岩見沢RCには岩見沢ネストローター衛星クラブの会員数13名(内女性会員0名)を含む

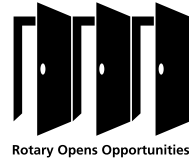
新型コロナウイルス拡大に伴う

2020-2021 国際ロータリー 第2510地区

地区大会

開催延期のお知らせ

ロータリーは
機会の扉を開く



地区大会
実行委員会
より

新型コロナウイルス感染
拡大防止を鑑み、
参加者および関係者の皆様の健康と
安全面を第一に考慮した結果、
以下の期日に延期することに致しました。

2021年5月16日(日)

会長・幹事会／本会議／記念講演／記念懇親会

札幌パークホテル

札幌市中央区南10条西3丁目1の1 TEL:011-511-3131(代表)

2021年5月17日(月)

地区大会記念ゴルフ大会

会場／小樽カントリークラブ

なお、今後の状況次第では中止せざるを得ない場合もございますので、
何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

地区大会実行委員長 池田 和陽

2023-2024年度 ガバナーノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 福井 敬悟
地区ガバナー指名委員長 国立 金助

2023-2024年度地区ガバナーノミニー候補者として適格な会員が在籍しており、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長(地区ガバナー事務所気付)宛、文書(書式任意)をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナーノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第16.010.節~第16.020.節の資格条件に適していることを要します。

[参考] 国際ロータリー細則第12条(ガバナーの指名と選挙)
国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定
(1998-1999年度地区年次大会決議第8号)
2019年手続き要覧抜粋

ICT委員会からお知らせ

Facebook アカウントをお持ちの方
(Facebook のアカウントを作成して) **参加しませんか？**

第 2510 地区 ICT委員会

ICT 委員会では、第 2510 地区の交流グループを Facebook で作りました。参加は、第 2510 地区内のクラブ会員限定としています。このグループは、クラブの情報等をアップする事が出来ます。どんどん、自分のクラブの奉仕活動など投稿して、情報の共有しませんか ...



グループに参加が、初めての方は、認証確認があるため少々お時間を頂く場合がございますが、是非、ご参加いただいで情報共有させて頂ければ幸いです。

まだ、Facebook のアカウントを持っていないという方は、下記にアクセスして登録をお願いします。



こちらの QR コードから Facebook にアクセスして登録してください。

1. 自分の名前、メールアドレス、携帯電話番号、パスワード、誕生日、性別を入力します。
2. [アカウントを作成] をクリックします。
3. アカウントの作成を完了するには、メールアドレスまたは携帯電話番号を認証する必要があります。

ICT委員会 委員長 堀元 雅司

表紙の解説

古くから「世界三大夜景」の一つとして世界に広く知られ、「100万ドルの夜景」とも称される超有名な夜景スポット。標高334メートルから見下ろす光景は、市街地のきらめく灯りに、左側に津軽海峡、右側に函館湾が広がり、その幻想的な夜景を見るために連日多くの観光客が訪れます。





District 2510

第10グループ

●函館RC●函館亀田RC●森RC●七飯RC●長万部RC●函館セントラルRC



夕暮れのバイエリア



ハリスト正教会と函館港



大沼国定公園の紅葉